



撮影：萬年 祐次

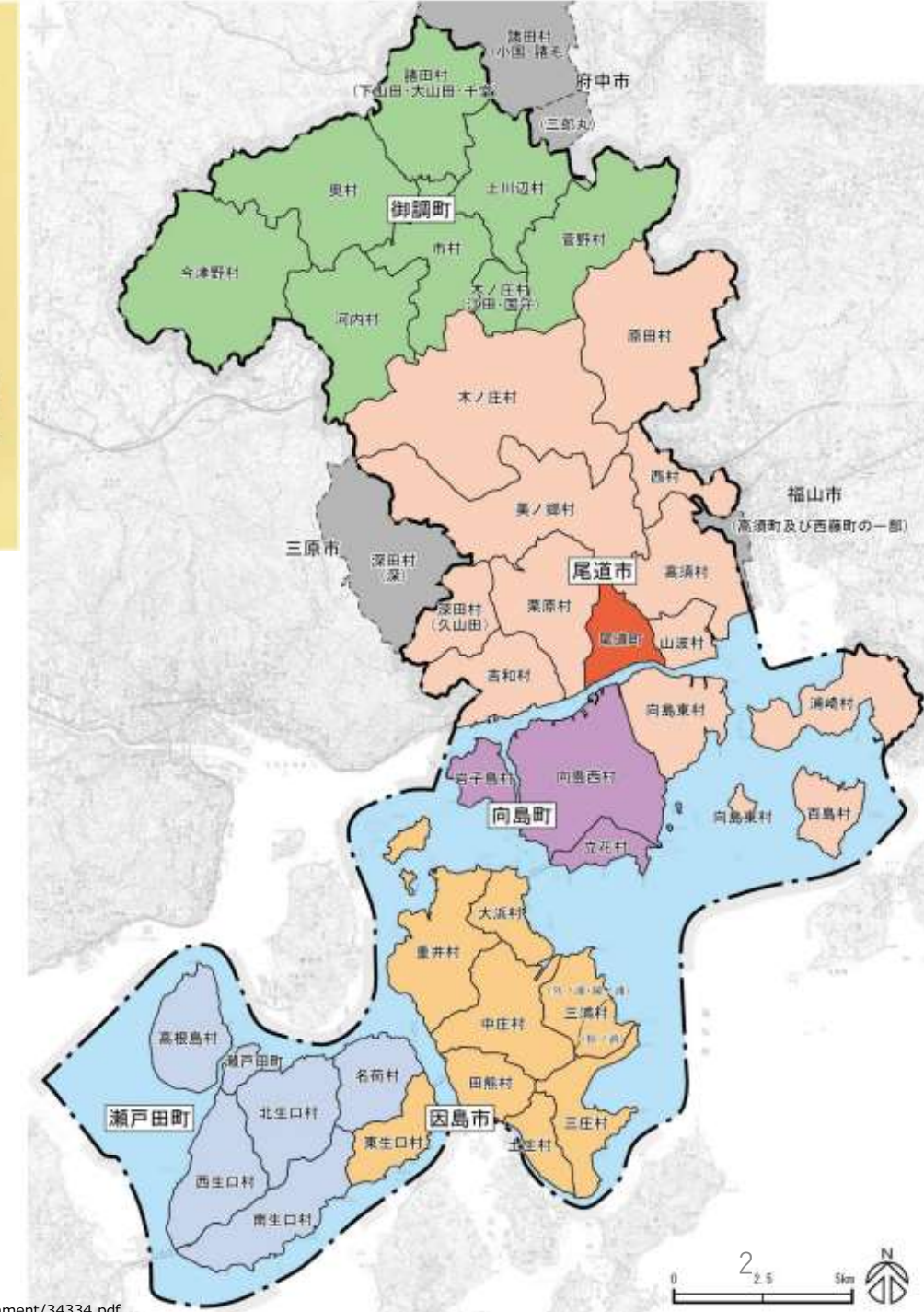
2022年 広島県視察会

～ 尾道について ～

ガバンス研究科 13期 チ リナ

尾道市の概要

- **位置**：瀬戸内のほぼ中央、広島県の東南部
- **面積**：東西約 23 km、南北約 35 km、面積 285.11 km²
- **歴史**：
 - 自然の良港を持つ尾道は、嘉応元年（1169年）、備後大田荘（後、高野山領）公認の船津倉敷地、荘園米の積み出し港となって以来、対明貿易船や北前船、内海航行船の寄港地として、中世・近世を通じて繁栄を遂げた。港町・商都としての発展は各時代に豪商を生み、多くの神社仏閣の寄進造営が行われた。
- **市域の変遷**：
 - 明治31年（1898年）県内では広島市に次いで2番目に市制を施行し、周辺市町村との合併を経ながら市域を拡大して、緑豊かな北部丘陵地域から尾道水道周辺地域を経て独特の多島美を有する瀬戸内海地域に至る、多彩な資源を有するまちに。
 - 歴史と文化に溢れる島々を結び、全長約70kmの海の道をサイクリングで満喫できる**しまなみ海道**をはじめとする新たな魅力と歴史・伝統に育まれた資源を活かし、他にはない魅力的な価値を持つまちづくりの推進。
 - 瀬戸内のほぼ中央に位置し、山陽自動車道、瀬戸内しまなみ海道に加え、平成27年（2015年）3月に全線開通した中国やまなみ街道（中国横断自動車道尾道松江線）により、広域拠点としての機能は高まり、「瀬戸内の十字路」としての発展が大いに期待される都市。



人口構成

- ・人口：129,797人（2023年1月）
- ・少子高齢化が進み、2022年では高齢化率が 36.3%となっている。
- ・県内・外への転出が止まらず、転入よりおおくなっている。

人の動き [1月30日現在]

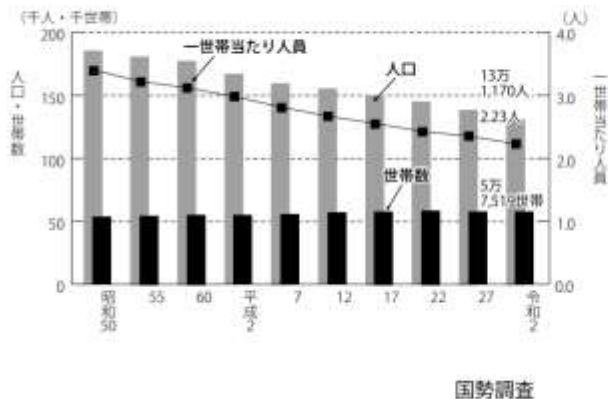
※（ ）内は前月比。



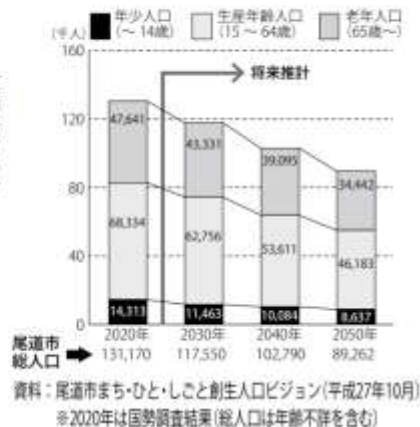
63,959世帯（－141）
人口 男性 62,851人（－178）
女性 66,946人（－156）
計 129,797人（－334）

尾道市 広報おのみち 2023年2月号

人口・世帯数の推移

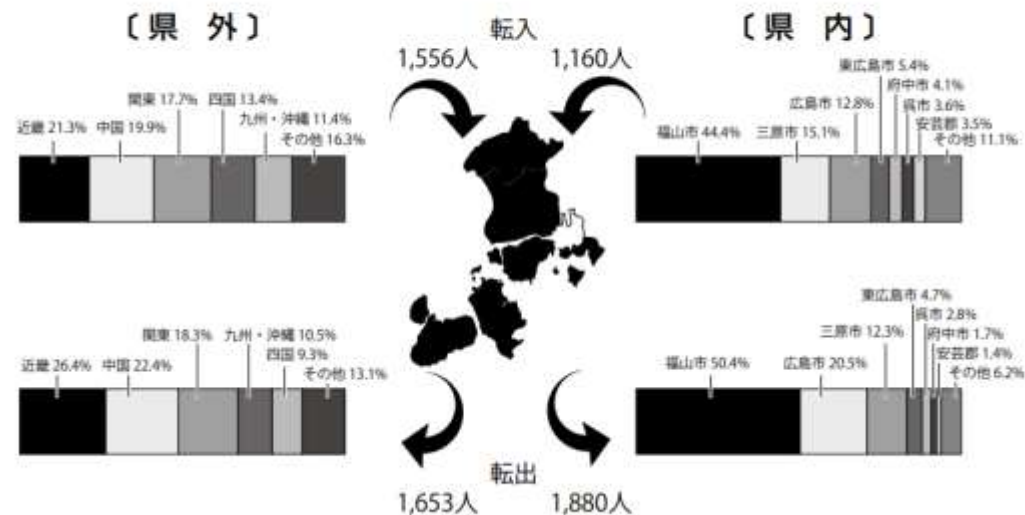


人口の将来推計



県外・県内移動者の地方別構成比

〔令和元年10月1日～令和2年9月30日〕



産業

産業

- 中世：製塩や海運業、刀鍛冶等
- 近世：製塩や海運業に加え、酢や酒の醸造、石細工、刺帆、編笠、串柿等
- 近代以降：除虫菊や柑橘の栽培、養蚕業、製塩が盛んに行われるとともに、瀬戸内海においては造船業が発達した

事業所数

- 造船関連産業等の輸送用機械器具製造業、金属製品製造業

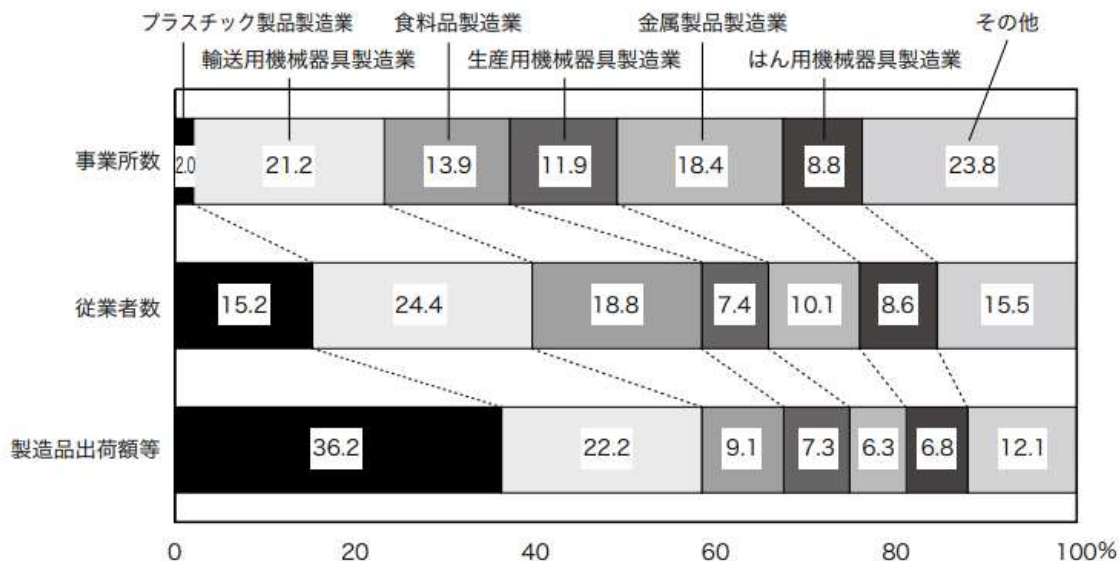
工業出荷額

- プラスチック製品製造業、輸送用機械器具製造業

(単位 事業所、人、万円、%)

産 業 (中分類)	事業所数	構成比	従業者数	構成比	製造品出荷額等	構成比
総 数	353	100.0	14,944	100.0	56,708,421	100.0
プラスチック製品製造業	7	2.0	2,270	15.2	20,500,182	36.2
輸送用機械器具製造業	75	21.2	3,651	24.4	12,569,494	22.2
食 料 品 製 造 業	49	13.9	2,812	18.8	5,155,654	9.1
生産用機械器具製造業	42	11.9	1,107	7.4	4,123,841	7.3
金 属 製 品 製 造 業	65	18.4	1,506	10.1	3,596,639	6.3
はん用機械器具製造業	31	8.8	1,288	8.6	3,843,771	6.8
そ の 他	84	23.8	2,310	15.5	6,918,840	12.1

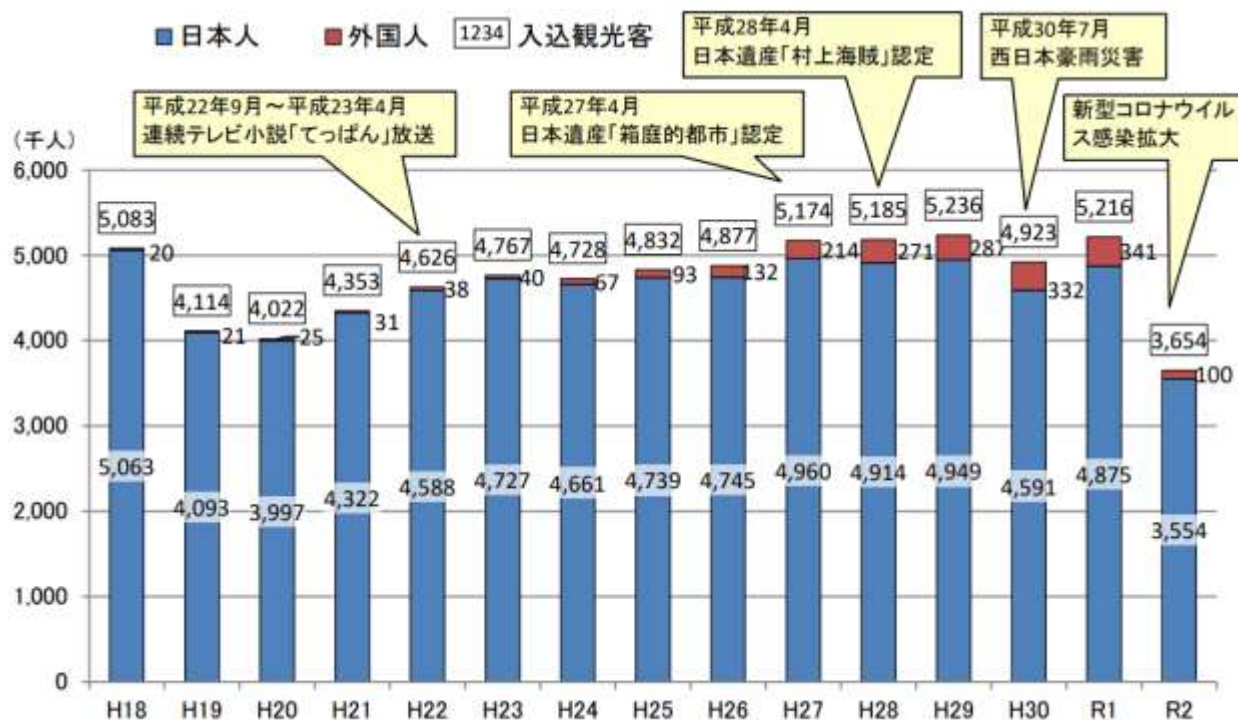
令和2年(2020年)工業統計調査(従業者4人以上の製造事業所)



観光

- 平成 11 年(1999)の瀬戸内しまなみ海道開通当時は、約760 万人の入込観光客。
平成 20 年(2008)まで減少傾向にあったが、平成21 年(2009)以降増加に転じ、日本遺産認定を受けた平成27年(2015)以降は 520 万人前後で推移している。
- 外国人観光客数も増加傾向にあり、令和元年(2019)には約 34 万人となっている。
令和 2 年(2020)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、外国人を含め入込観光客数は大きく減少している。

観光客推移



資料：広島県観光客数の動向による。

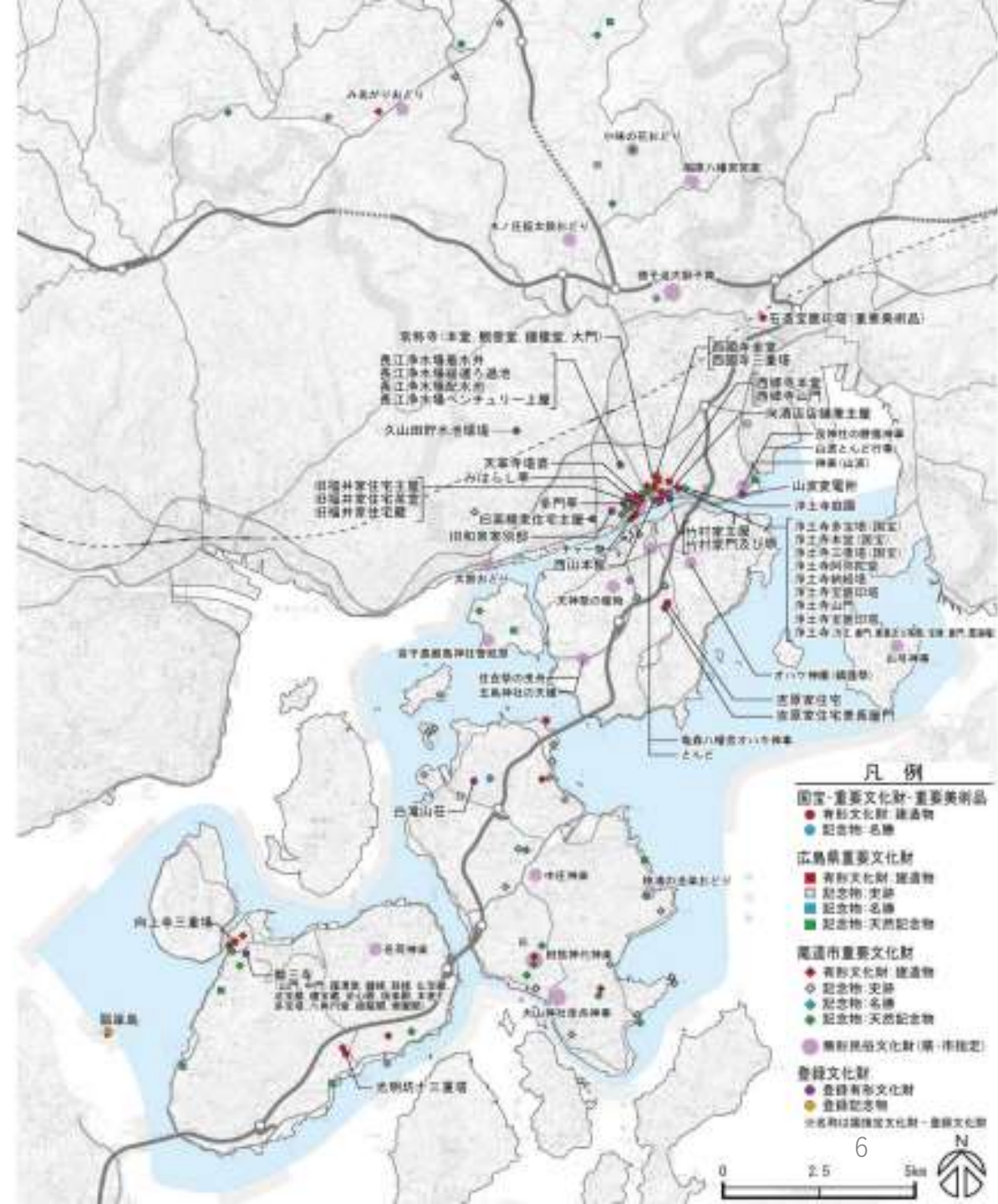
外国人観光客推移

外国人観光客数（推計）



指定・登録文化財の分布状況

- ・2022年1月1日現在、国指定が59件、県指定が80件、市指定が230件で、合計369件である。
- ・指定文化財のうち、有形文化財が274件で7割以上を占め、そのうち、建造物は37件が指定されている。
- ・この他、建造物としては、登録有形文化財が34件ある。



尾道市都市計画マスタープラン

- 人口減少、少子高齢化、環境問題の深刻化、災害の頻発化など、尾道市を取り巻く社会・経済情勢が大きく変化する中で、これらに適切に対応し、市域を広域的に捉えたまちづくりを推進するため、合併前の地域相互の関係性を踏まえた都市計画マスタープランを策定した。

策定年月	平成 30 年(2018) 3 月
計画期間	概ね 20 年後の 2035 年
目標年次(2035 年)の人口	114,000 人
まちづくりの基本理念	誰もが安全で、安心して暮らすことができ、地域が多彩に輝く、魅力あふれる都市
まちづくりの基本目標	①災害に強く、安全で、安心して暮らせる都市の構築 ②誰もが便利で快適に暮らせる生活環境の形成 ③経済活動を支えるインフラの充実 ④個性ある景観を保全・活用した風格のあるまちづくり

都市構想

以下の 5 つの分野別に都市づくりの方針(都市構想の構成)を設定

1. 土地利用の方針
2. 道路・交通体系の整備方針
3. 緑地・景観・環境の保全・形成の方針
4. 都市防災の方針
5. その他都市施設の整備・維持管理の方針

3. 緑地・景観・環境の保全・形成の方針

- 1) 緑地の保全と緑化の推進
①公園の整備・維持管理 ②都市緑化の推進
- 2) 尾道特有の景観の保全・形成
①自然景観の保全・形成 ②市街地・歴史的景観の保全・形成
- 3) 環境の保全・再生
①自然環境の保全・再生・活用 ②生活環境の保全

2) 尾道特有の景観の保全・形成

本市の景観は、主に、自然景観と歴史まちなみ景観で構成されており、それぞれが融合することで、尾道特有の景観を創出しています。これまで、「尾道市景観計画」や「尾道市歴史的風致維持向上計画」等に基づき、地域特有のまちなみ景観の保全・形成を進めてきました。

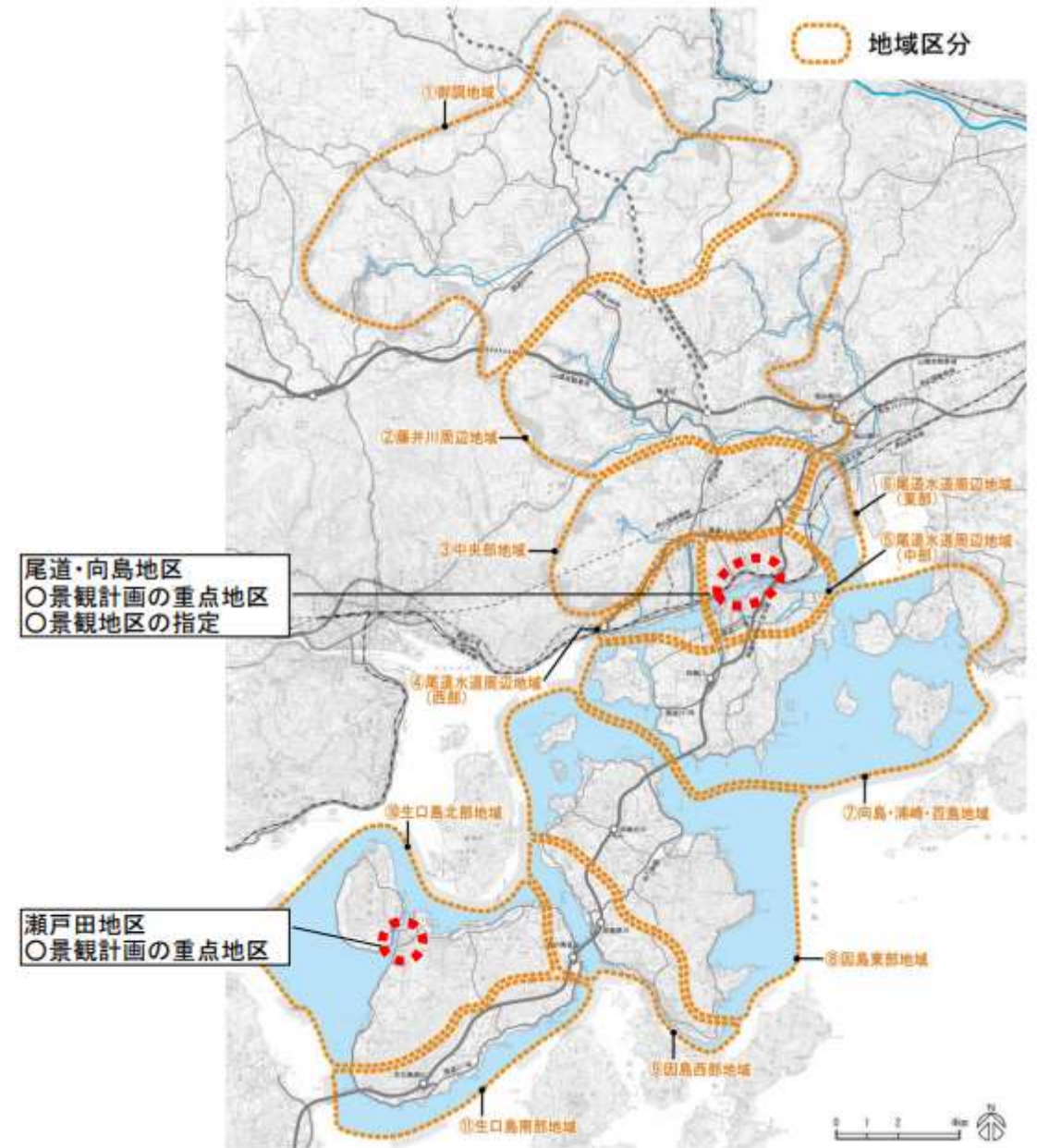
今後とも、自然景観と歴史まちなみ景観が調和した、尾道固有の景観創出に取り組むとともに、市民への景観形成の取組を広め、景観に対する継続的な意識啓発を図ります。

②市街地・歴史的景観の保全・形成

「尾道市歴史的風致維持向上計画」に基づき、市街地に残る旧家や路地の家並みなど、地域特有のまちなみ景観の維持・向上に取り組むとともに、道路の美装化等による景観に配慮した道路空間の形成を図ります。

尾道市景観計画

- 平成 18 年(2006) に旧尾道市及び向島町を対象区域とした「尾道市景観計画」を策定し、その中では「尾道市景観地区」を定め、平成 19 年(2007) 4 月から施行している。
- 平成 22 年(2010) 4 月からは、景観計画区域を市全域として施行している。景観計画区域は 11 の地域に細区分し、それぞれ景観形成の方針を定め、地域の景観 特性を伸ばしながら、良好な景観を形成することを意図している。
- 重点地区として、尾道市の旧市街地と対岸の向島の一部からなる「尾道・向島地区」、及び瀬戸田港周辺の市街地等を含む「瀬戸田地区」を設定している。



歴史的風致維持向上計画事業

第一期

期 間：平成24（2012）年度から令和3（2021）年度

- 重点地区：
- 尾道・向島歴史的風致地区 約200ヘクタール
 - 瀬戸田歴史的風致地区 約137ヘクタール

補助金交付制度

補助金交付事業一覧

事業名称	事業概要	詳細はこちら
まちなみ形成事業	歴史的建造物等（建築後長期間年数が経過し、歴史的資料等のある建造物・工作物）の所有者または管理者が、景観形成の方針（色彩等の基準）に沿った外観の修理や変更等を行う場合、経費の3分の2（最大200万円）を助成します。	まちなみ形成事業補助金
沿道建造物等修景事業	沿道建造物等（道路美装化対象路線等に面する建築物・工作物等）の所有者または管理者が、景観形成の方針（色彩等の基準）に沿った外観の整備等を行う場合、経費の3分の2（最大20万円）を助成します。	沿道建造物等修景事業補助金
空き家再生促進事業	空き家（おおむね1年以上継続して使用されず、建築後30年以上の建築物）の所有者または賃借者等が、台所や内装、外装等を改修して居住する場合、経費の3分の2（最大30万円）を助成します。	空き家再生促進事業補助金
老朽危険建物除却促進事業	老朽危険建物（周辺の景観及び住環境を悪化させ放置されており、不良度判定基準により認定された建築物）の所有者または所有者の相続人等が、解体業者による除去を行う場合、経費の3分の2（最大60万円）を助成します。	老朽危険建物除却促進事業補助金

第二期

期 間：令和4（2022）年度から令和13（2031）年度まで

重点地区：

- 尾道・向島歴史的風致地区 約207ヘクタール
第2期計画では、第1期計画の重点区域と連続的・一体的な構成となっており、未指定の歴史的建造物やNPO法人によって保存修理された旧和泉家別邸（通称尾道ガウディハウス）が立地する三軒家町の一部を重点区域に含めた
- 瀬戸田歴史的風致地区 約137ヘクタール

補助金交付制度

補助金交付制度

名称	概要
まちなみ形成事業	歴史的建造物等（建築後長期間年数が経過し、歴史的資料等のある建造物・工作物）の所有者または管理者が、景観形成の方針（色彩等の基準）に沿った外観の修理や変更等を行う場合、経費の3分の2（最大200万円）を助成します。
沿道建造物等修景事業	沿道建造物等（道路美装化対象路線等に面する建築物・工作物等）の所有者または管理者が、景観形成の方針（色彩等の基準）に沿った外観の整備等を行う場合、経費の3分の2（最大20万円）を助成します。
空き家再生促進事業	空き家（おおむね1年以上継続して使用されず、建築後30年以上の建築物）の所有者または賃借者等が、台所や内装、外装等を改修して居住する場合、経費の3分の2（最大30万円）を助成します。
老朽危険建物除却促進事業	老朽危険建物（周辺の景観及び住環境を悪化させ放置された、不良度判定基準により認定された建築物）の所有者または相続人等が、解体業者による除去を行う場合、経費（または国が定める標準除却費に10分の8を乗じた額）の3分の2（最大60万円）を助成します。

補助金交付事業（その他）

事業名称	事業概要
歴史的風致形成建造物修景修復事業	歴史的風致形成建造物に指定された建造物の所有者または管理者が、修理、修復等の修景修復を行う場合、経費の3分の2（最大500万円。ただし、構造上主要な部分にかかる工事を含む場合は600万円）を助成します。

歴史的風致維持向上計画事業

■ 補助金

• まちなみ形成事業補助金

尾道市歴史的風致維持向上計画の重点区域内で、建築当時の形態意匠を再現または維持することを目的とする歴史的建造物・工作物の外観修理、外観変更等の整備に要する経費の3分の2（最大200万円）を助成

• 沿道建造物等修景事業補助金

尾道市歴史的風致維持向上計画の重点区域内で、美装化された道路等の沿道建造物等について、街並み景観の保全・形成につながる外観の修景整備に要する経費の3分の2（最大20万円）を助成

• 空き家再生促進事業補助金

尾道市歴史的風致維持向上計画の重点区域内で、空き家を改修して居住する場合に、改修に要する経費の3分の2（最大30万円）を助成

• 老朽危険建物除却促進事業補助金

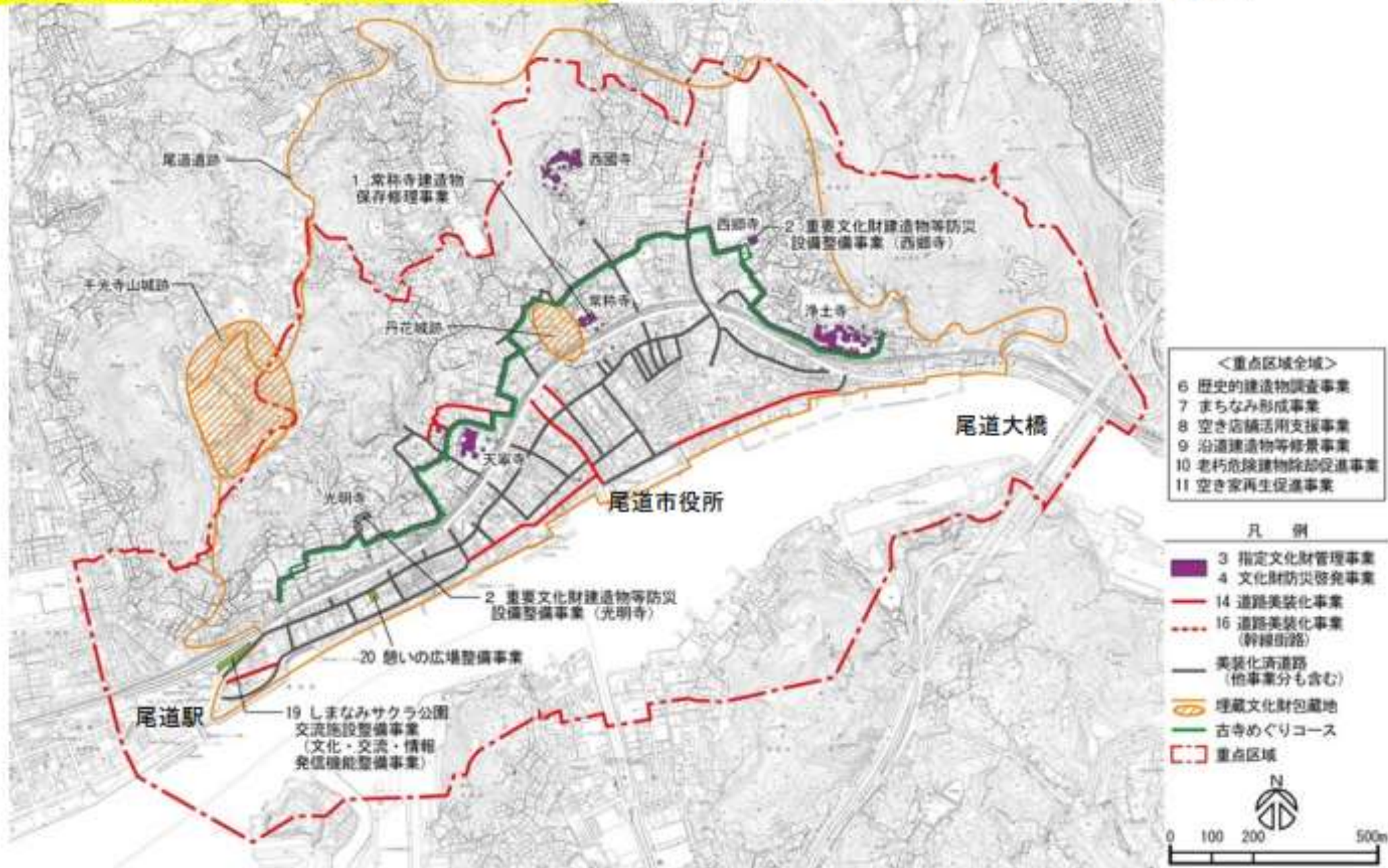
尾道市歴史的風致維持向上計画の重点区域内で、使用されず適正に管理されていない老朽危険建物の除却に要する経費の3分の2（最大60万円）を助成

■ 対象区域

【 瀬戸田歴史的風致地区 約 137ha 】



【 尾道・向島歴史的風致地区 約 207ha 】 ※三軒家町の一部が区域に入りました。



視察先

<生口島>

- ・シトラスパーク瀬戸田／レモンファームグランピング
- ・しおまち商店街エリア

<尾道>

- ・千光寺公園展望台エリア
- ・LOG
- ・ONOMICHI SHARE
- ・ONOMICHI U2



シトラスパーク瀬戸田 「LEMON FARM GLAMPING (レモンファームグランピング) しまなみ」

- 尾道市が所有するシトラスパーク瀬戸田の「シトラスパーク瀬戸田活用事業」の一環として取り組む事業
- 2022年8月、一時休園中だった柑橘類のテーマパーク「シトラスパーク瀬戸田」敷地内にてリニューアルオープン
- 事業会社：株式会社マリモホールディングス、ひろぎんキャピタルパートナーズ株式会社、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションの3社が出資、株式会社せともすが運営受託

特徴

- 「レモンファームグランピングしまなみ」
瀬戸内海のパノラマを見渡す 8 棟の絶景グランピング
- 柑橘類の農園テーマパーク
1,300本のレモンの木
- 愛犬と泊まれる専用ドッグラン付きヴィラを 2 棟
日帰りドッグランも併設









瀬戸田 しろまち商店街

- ・ 瀬戸田港のフェリー乗り場付近から続く、生口島で一番賑わう街並みが「しろまち商店街」。
- ・ 趣のある建物が連なり、古き良き商店街を思わせる懐かしい雰囲気を楽しめる。



- 日本を代表する日本画家の平山郁夫が生まれた地でもある瀬戸田。平山郁夫美術館ではその生い立ちや青年期の作品も展示されている。
- また、島には、1989年から開催された世界一小さなアートプロジェクト「瀬戸田ビエンナーレ」によって設置された17作品が点在。
- 「生口島全体が美術館」というコンセプトのもと、島の風景に溶け込んで、遊び心と芸術性を兼ね備えた作品ばかり。





旧堀内家住宅

- 旧堀内家住宅 堀内家は三原屋の屋号で知られ、多くの塩田を運営していた豪商であり、港町瀬戸田の中心地に豪壮な邸宅が残る。明治9年（1876）の建築（棟札による）で、入母屋造り、本瓦葺きである。
- 現在は、主屋の外観の趣は残しつつ、新たに宿泊施設として活用されている。



千光寺エリア 頂上展望台「PEAK（ピーク）」

- 千光寺公園は多くの市民・観光客が訪れる本市の観光スポットの代表であり、より一層の魅力の向上及び回遊性のあるネットワークの形成等を図るため、展望台のリニューアル、緑地の整備及び新たな視点場の形成など、頂上エリア一体の整備を行い、2022年3月より一般公開。
- 長さ63メートルの展望デッキからは、ゆっくり歩きながら尾道水道や日本遺産の街並みを大パノラマで楽しめる。
- 設計：京都市京セラ美術館やルイ・ヴィトンの店舗など国内外で数多くの建築物を手がける青木淳氏と品川雅俊氏の建築設計事務所「AS」



千光寺エリア

道路美装化事業

神社仏閣等の歴史的建造物を回遊する小路や斜面地等の散策道において、舗装及び側溝の美装化を行う。



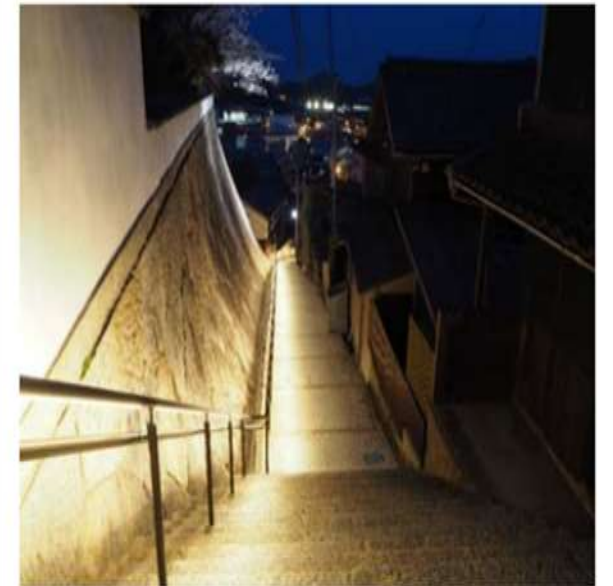
道路水路修繕事業

坂の多い尾道市において、市民や観光客の安全な歩行のために、劣化によって構造的に安全面の問題があるものや美観が損なわれている階段及び水路等の修復を行い、街並み景観の形成の促進を図る。



夜間景観形成事業

夜間の安全な通行と夜間景観の形成の促進を図ることを目的に、歴史的な背景を持つ街並みに調和したデザインの街灯等の設置を行う。



千光寺新道ライトアップ（令和元年度）

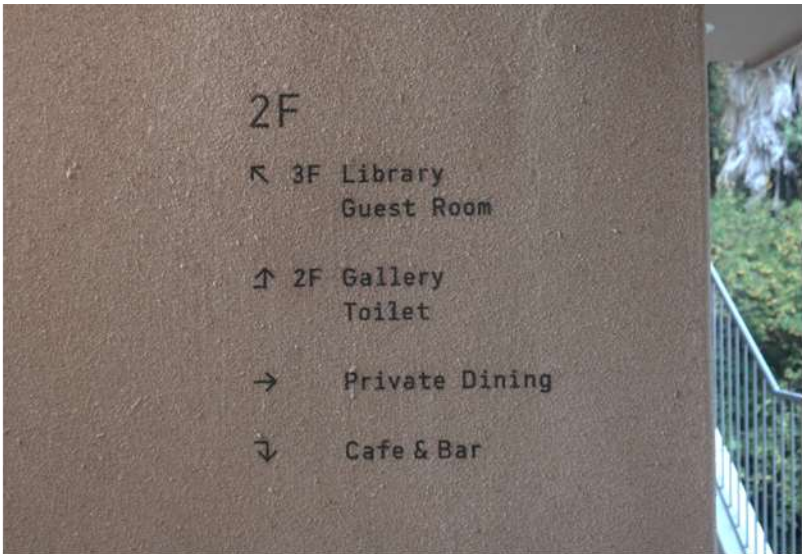
尾道市公式HP <https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/>

旧天野春吉別邸・新道アパート（現・LOG）

- LOGとは「Lantern Onomichi Garden」の意味。尾道にランタンのような明かりをともす活動拠点。
- 大正時代に建設された茶園である天あま野の春はる吉さち氏別邸の跡地にある。
- 1963年に新道アパートが建設され、2018年12月にリノベーションをし、ホテルを併設する複合施設として活用されている。
- 〈ONOMICHI U2〉などを運営する地元企業のせとうちホールディングス（現ツネシホールディングス）とビジョイ・ジェイン氏率いるスタジオ・ムンバイと共同で取り組む建築プロジェクト。
- 1階にはレセプションとショップ、ダイニング、2階にはカフェ&バー、プライベートダイニング、ギャラリー、宿泊者専用の3階には6つの客室とライブラリーがある。

概要

所在地：広島県尾道市
構造：鉄筋コンクリート造、地上3階
延床面積：1,180㎡
開業：2018年12月
改修前：集合住宅、1963年建造、
客室数：6室
主要施設：客室、ダイニング（18席）
カフェ・バー（26席）、ショップ、
ギャラリー、ガーデンなど
運営：TLB株式会社（常石グループ）





コワーキングスペース 「ONOMICHI SHARE」

- 2015年1月16日、尾道市の書庫として使用されていた住吉浜上屋倉庫（2階）をリニューアルオープン。
- コンセプト：尾道の海辺で「働く＋遊ぶ」
- 尾道市の「おのみちサテライトオフィス誘致事業」の公募型プロポーザルに株式会社ディスカバーリンクせとうちが採用され、大型シェアフロアへと生まれ変わった。

- 概要

所在地：広島県尾道市土堂2丁目10-24 2F

アクセス：JR「尾道」駅 徒歩13分

総席数：70席

シェアフロア(コワーキング、カフェ利用など)：約40席

セッションフロア：15席

ミーティングルーム：6席

ミニスタジオ：1～2席





尾道 商店街



- **旧尾道商業会議所**

1923年10 月に建築

2004年尾道市重要文化財に指定

2006年尾道商業会議所記念館として開館

- **大和湯**

元銭湯を改装して瀬戸内特産品や、
雑貨を販売するカフェ「ゆーゆー」



複合空間 「あなごのねどこ」

- 商店街にある眼鏡店の店舗兼住居の建物を再生。
- 1Fの「あくびカフェ」では、移住者や長期滞在者がスタッフを務める。
- 尾道の小路【しょうじ】と呼ばれる細長い路地を介して点在する建物は、どれもそれぞれの面白さを引き出した古くて新しい空間になっている
- 施設
 - ドミトリ形式のゲストハウス：「あなごのねどこ」
 - カフェ：「あくびカフェ」
 - 交流スペース「あなごサロン」
 - 本と音楽の複合空間：「紙片（しへん）」







ONOMICHI U2



- 広島県による公共施設の活用事業の一環で、市街地に比べて集客が少なかったJR尾道駅より西側エリアのにぎわい創出のため、事業計画を公募。
 - 2014年3月、築70年の県営の海運倉庫をリノベーションした複合施設として開業。
 - デザイン：谷尻誠（広島県出身の建築家）氏が率いるSUPPOSE DESIGN OFFICE（サポーズデザインオフィス）
 - 施設概要：
 - アクセス：JR「尾道」駅から徒歩10分
 - 敷地：約2,000㎡
- ※約1/3がホテル、残り2/3がショップスペース

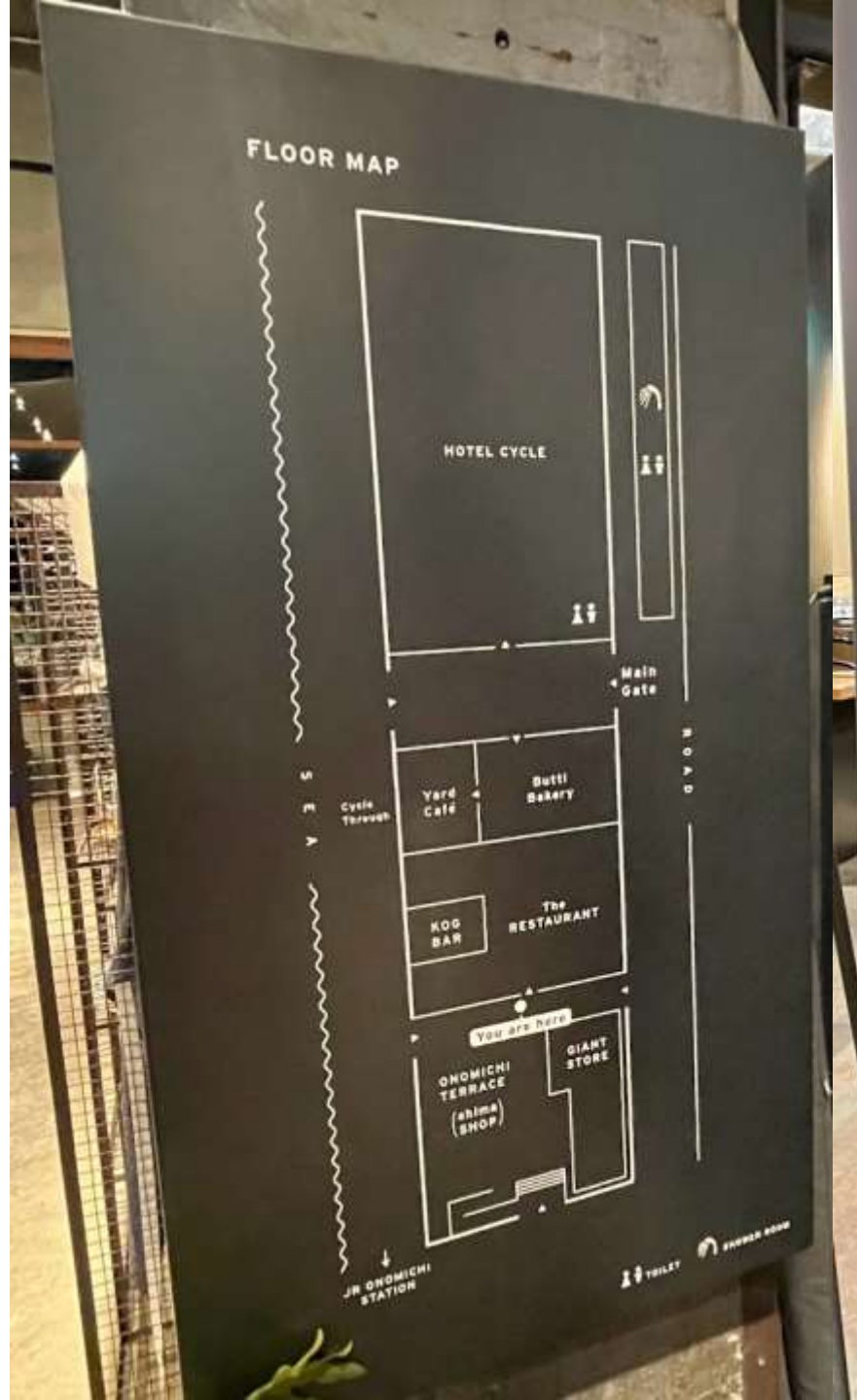
ONOMICHI U2

■ ショップ・レストラン

- 日本初となるサイクリスト向け宿泊施設、レストラン&バー、ショップ、自転車専門店などで構成。
- グローバル自転車ブランドGIANT STORE（ジャイアントストア）自転車の販売や修理、メンテナンスを提供。
- 瀬戸内の食材を楽しむレストランやバー・カフェ・ベーカリー・ライフスタイルショップを併設。

■ ホテル

- サイクリスト向け宿泊施設「HOTEL CYCLE（ホテルサイクル）」。計28室で、自転車に乗ったままチェックインでき、部屋に自転車を持ち込めたり、共有スペースには特製サイクルハンガーやメンテナンス用具が揃っていたりと、サイクリストに特化したサービスを提供。





参考文献

- 広島県公式HP <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/247/>
- 尾道市公式HP <https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/>
- シトラスパーク瀬戸田 <https://www.citruspark-setoda.com/>
- LEMON FARM GLAMPING <https://www.citruspark-glamping.com/>
- しおまち商店街 <https://shiomachi-shotengai.com/>
- ONOMICHI U2 <https://onomichi-u2.com/>
- ONOMICHI SHARE <https://onomichi-share.com/>
- LOG <https://l-og.jp/>